



の
質問箱 (88)

宮之城町産の竹自慢は？

屋地 男性17歳

宮之城町一帯は、竹の主産地として有名ですが、それは竹類の生育環境、特に気象条件に恵まれているからだといえます。良質な竹材は日常生活用具に、美味な筍は料理されるなど人々の生活に欠かせない存在となってきました。

宮之城町産の竹自慢には、

- ①多種類の竹が生育している山林、原野などに29種類が生育しています。
- ②モウソウチク林が多い竹林面積531haは町村別では全国1位になります。
- ③モウソウチクの古竹林 宗功寺公園内に250年前に

- ④日本一早い超早掘り筍 毎年10月上旬よりモウソウチク早掘り筍が収穫されます。
- ⑤38本の筍がギネスに 日本初の世界新記録がモウソウチク林から生ま



宗功寺公園の古竹林

- ⑥貴重なキンメイモウソウチク林で自然発生しました。
- ⑦国道沿いの竹並木 かぐや姫通りなど3本の国道沿いにキンメイモウソウなどが街を飾っています。
- ⑧町役場庁舎玄関の竹 竹のふるさとを象徴するかのようにキンメイモウソウやスズタケの植込みがあります。
- ⑨かぐや姫の里竹園 宮之城町産有用竹などが竹園と曲水の庭、多目的グラウンドに植えられ憩いの場になっています。



役場庁舎玄関の竹

- ⑩伝統工芸センターの竹 館を囲むように工芸品加工用の竹が植えられ、訪れる人をごましてくれま
- ⑪北薩広域公園の竹 広い公園内にクマザサなどの植え込みやモウソウチク林があり、筍掘りや竹炭、竹細工教室などで賑わっています。
- ⑫7校に学習竹園 小学校、中学校、高等学校に延べ30種の竹が教材として植えられ、学童の関心を集めています。

竹林は自然災害防止や生活環境の改善に役立つので、今後とも有効利用を図りたいものです。

ちくりん指導官 浜田 甫

がんばれ認定農業者!!

シリーズ⑮

◆宮之城町久富木地区 福永満親さん

福永さんは、おばさんの営んでいた茶工場で働いていましたが、自分で茶業をしたいと思い、昭和55年に工場を建て、委託加工を主に始められました。

茶業を始めたが、「霜による品質の低下や価格の低下を避けることが大変。また、何年経ってもお茶栽培は難しい。」と話される福永さん。現在は、お茶500aを栽培されています。

「就農して大変なことの繰り返しだが、その苦労が実ったときの達成感がたまらない。」と笑顔を見せる福永さん。これからは、「品質の向上や面積の拡大を図り、ゆとりある経営をしたい。」と力強く応えてくださいました。

